

大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁植込み手術(TAVI) を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

「TAVI を受けた患者における SGLT-2 阻害剤 Dapagliflozin の
導入による術後心臓リバーズリモデリング効果に関する臨床研究」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院心臓血管外科では、重症大動脈弁狭窄症と診断され、経カテーテル的大動脈弁植込み術(TAVI)を受けられた患者さんを対象に、カルテ、手術記録、看護記録等（以下、「カルテ等」といいます）の診療情報から得られる情報をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2015 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの期間に、鳥取大学医学部附属病院心臓血管外科において、経カテーテル的大動脈弁植込み術を受けられた 60 歳から 100 歳の患者さんのカルテ等から、情報を集めさせていただき、「手術後の心臓超音波検査データの推移」を調査します。また、それ以外にも、「手術後の血液検査データの推移」、「心臓由来の症状の推移」、「術後に新たに起こった病気や、再入院の必要性」、「術後の生活の質」についても調査を予定しています。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院心臓血管外科で集計されます。なお、情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる患者さんは、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【患者さんの情報】

手術時年齢、性別、アレルギー歴、身長、体重、診断名、大動脈弁狭窄症の重症度、心臓手術の既往、併存疾患名（同時にかかえている病気）、NYHA 心機能分類、術前血液データ（RBC、Hb、Hct、Plt、WBC、好中球、リンパ球、好酸球、好塩基球、単球、AST、ALT、ALP、LDH、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、総コレステロール、中性脂肪、BUN、クレアチニン、CK、Na、K、Cl、Ca、BNP）、血圧、脈拍数、胸部

X 線検査所見、12 誘導心電図所見、心臓超音波検査所見、合併症、既往歴

【手術時の情報】

総手術時間、出血量、開胸手術への移行、輸血量、使用した人工弁の種類、術後の入院期間、術後の血液検査データの推移、術中・術後の合併症

【経過および転帰】

1) 再入院時

再入院（増悪）確認日、再手術の有無、所見〔身長、体重、NYHA 心機能分類、血液データ（RBC、Hb、Hct、Plt、WBC、好中球、リンパ球、好酸球、好塩基球、単球、AST、ALT、ALP、LDH、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、総コレステロール、中性脂肪、BUN、クレアチニン、CK、Na、K、Cl、Ca、BNP）、血圧、脈拍数、胸部 X 線検査所見、12 誘導心電図所見、心臓超音波検査所見〕

2) 転帰確認時

最終転帰

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から 2030 年 3 月 31 日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利 益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来の大動脈弁狭窄症の治療法の進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益・・・カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく患者さんの情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画を立てて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から 5 年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めに希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。ご家族の方（父母、成人の兄弟、祖父母、同居の親族などの近親者）からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対しても対応いたします。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めに希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院心臓血管外科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報が研究に用いられているかどうかを

お知りになりたい場合や、患者さんの情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

所属：鳥取大学医学部附属病院 心臓血管外科

職名：助教

担当者：大野原 岳史

TEL：0859-38-6577（平日 9 時～17 時）

メールアドレス：takeshike98@tottori-u.ac.jp

＊この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

（<https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/amirt/2115/3186/3294/>）

12. 研究実施機関および研究責任者

鳥取大学医学部附属病院 心臓血管外科 教授 吉川 泰司